

## ～～～建国記念祭について～～～

国の始まりである建国。何を以て建国とするかは、国によって見解が異なります。

国家の基礎が確立して主権国家としての態を為すこと、などとも言われますが、国によって解釈は様々です。

- ・憲法が施行された日---憲法記念日
- ・宗主国から独立した場合であれば独立を宣言した日---独立記念日
- ・共和制の国家であれば、共和国の創立を宣言した日---共和国創立記念日
- ・君主制の国家であれば、初代国王が即位した日---建国記念日

これらの日をもって建国とするのが一般的です。

日本では現代から遡る神話に基づき、建国を祝う日として「建国記念の日」が定められました。

記紀にある初代天皇、神武天皇の即位日が、紀元前660年1月1日(旧暦)とあり、その即位月日を明治に入り、グレゴリオ暦に換算した日が2月11日となります。

## ～～～2017年2月11日月次祭七澤代表挨拶より抜粋～～～

少なくとも白川学館というものが、この1000年、あるいはこの仕事をしておりましたが、天皇というものはですね、神武天皇からはじまりました。その日を紀元節といいます。

神武天皇が最初に即位されたとする、それがちょうど2月11日というかですね。

「建国」ということの意味ですね。それをしっかりと自覚しないといけない中身があらうかと思いません。

少なくとも日本を3000年近く守ってきた、まつりごとの方法というもの、あるいは政治の有り様をしっかりと思い起こさなければいけないこともあらうかと思えます。

今日は紀元節ということが、大事なひとつの中身で、今日そのような意味を含めてお祭りをさせて頂きました。

ある面では、神武天皇の金鷄(きんし)が止まっていますが、その剣と、その金鷄の意味、そのようなものにもう一度気づかなければいけない中身があらうかと思えます。

いわゆる日本文明というものが、古神道、それから天皇という問題、というものは大事な中身であって。それを成文化するにあたってですね、明治憲法からこの今の日本国憲法になりましたが、その中身に第1条というものはやはり日本の一番の、何と言っても大事な最初にある1条なんですね。

その中身を真に実現するというのが、この2年ぐらいの間にしっかりと起こるということですね。そのことをしっかりと白川というものの役目として、実践していく中の話として、この祭祀というか、その中身が創造からの中身ということですね。国のはじまりからの中身というものである、と。

## ～～～～～抜粋ここまで～～～～～